

2026 年 6 月 19 日

学校法人三幸学園
札幌ビューティーアート専門学校
校長 後藤 寿樹 殿

学校関係者評価委員会
委員長 福平 真子

学校関係者評価委員会実施報告

2025 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 木下 梨歌（株式会社レスポワール代表）
- ② 安西 勇輔（株式会社 Lim 代表取締役）
- ③ 福平 真子（セブンスディレクション）
- ① 平野 あさみ（フリーランス メイクアップアーティスト 5 期 卒業生）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2026 年 6 月 19 日（会場 札幌ビューティーアート専門学校 601 教室）

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2025 年度 学校法人 三幸学園 札幌ビューティーアート専門学校 自己評価ならびに学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 野村 智子

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 福平 真子

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ビューティー分野の学校として「人を美しくすることで人を元気にし、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ビューティー分野として「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

【2025年度目標】

- 1) 退学率低減
- 2) 国家試験合格率向上
- 3) 就職率向上

・**退学率**：8.3%→12.1%(3.8ポイント増)

2025年度は休学者からの退学が増えたことが要因の一つ。

今後も学校としては生徒状況を見た上で、時代に合った教育を検討していかなければならない。

・**美容師免許取得率**：91.3%→90%(1.3ポイント減)

2024年度と変わらず、実技試験では衛生で不合格者が出たことが課題。筆記試験も座学内容の理解習得に苦戦した。国家試験直前対策の期間でも十分に補う事が出来ず、対策の実施方法に課題があったと考えられる。

・**就職率**：100%(±0)

内定100%の結果を出すことができたが、時期は8月に80%内定出来るように工夫が必要である。

② 学校関係者評価委員会コメント

【退学率について】

(野村さん)退学の理由は人間関係と目標喪失が多い。退学率が10%を超えるのは久しぶりで休学からの退学が多い。

→安西委員(美容科)

人と付き合えなければ美容は難しい。社内でも問題になっている。美容師になると言っていたが、まつげエクステンションなどの他の美容を逃げ場としている人がいる。入社の段階で良い子だと思っていっても、目標の喪失と人間関係で辞める子はいらる。学校を決めて入学する段階はもっと子どもだと思うので、そこを食い止めるのは難しい。良い人材が入ってくる流れを作れたら、退学率は下がるのでは。

→木下委員(美容科・トータルビューティー科)

通信制高校で通っていなかった子が増えているのであれば難しい。学生のとき計算して休んでいたの、早めに自分で単位をしっかりと計算して休むように伝えるのはどうか。メンタルという言葉が増えており、心が弱い人が増えている。美容に限らず、課題に感じている。メンタルヘルスの授業を入れるのはどうか。

→福平委員(トータルビューティー科・エステティック科)

今の学生は単純で、占いやMBTI(性格診断)で一喜一憂しているので、ほめて伸ばす方が良い。

→平野委員(トータルビューティー科)

オープンキャンパスが手厚い。そのため入学してからのギャップがいろいろなことで起こっている。入学後に思っていたのと違うと感じている子がいると思う。

→福平委員(トータルビューティー科・エステティック科)

美容科のように、トータルビューティー科でも卒業生や企業の方をお呼びして現場のお話やキラキラした話を定期的に聞けるようにしてあげてほしい。

【国家試験合格率向上について】

→安西委員(美容科)

免許がないと雇用できない。内定を早く出した子に、サロンで準備をさせているが、1月から国家試験対策のためにサロンに来られなくなる。国家試験の合格率をあげるために、サロンとしてできることはあるのか。座学の方が課題であれば勉強させるしかない。

→平野委員(トータルビューティー科)

国家試験に一度落ちてしまったが、現在は美容師として活躍した人で、反面教師のように講話してくれる人はいないのか。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

社会のニーズをつかめる体制を整え学校の育成人材像および将来構造を更に検討していく必要がある。

② 今後の改善方策

産学連携をより増やし、業界ニーズに合わせた教育内容を盛り込み進めていく。

教職員が業界のニーズを知る機会の場を設ける。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

情報システム化は、取り入れているが全教員に浸透していない。
システム内容に課題を感じている

② 今後の改善方策

学校現場の声を学園システム室に情報として伝え、アップデートしていく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

特に、インターンシップに関して十分な受け入れ先の確保ができておらず生徒へ積極的に薦められていない。

② 今後の改善方策

企業開拓や生徒への動機付けが必要

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

（山田さん）アイサロンなど求人を出していないけれども、実は求人を出していたというようなことが多い。挨拶に行く分には迷惑にならないものなのか。訪問は行ってでも増やしたい。

木下委員(美容科・トータルビューティー科)→一番の理由は中途が欲しいから新卒求人を出していないことが多い。全国企業だと、わざわざ学校に出さずに、求人サイトなどに出している場合が多いと思う。大手は店長だと採用に関わっていないこともあり意味がないので、担当者とながれた方が良い。企業側も求人サイトなどではなく、直接繋がれた方が良いと感じている。就職は1社ずつしか受けられない環境ですか？

(山田さん)現状、有名サロンなど以外は、1社受けて結果がわかってから別を受けるような形をとっている。

(高岡さん)就職について併願を禁止する考え方は古いのでは。現場に遠慮せずに、併願できるようにした方が良い。

(4)学修成果

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	2
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

2024年度から2025年度にかけて休学者が多くなり、2025年度は休学者からの退学が増えたことが要因。今後も学校としては生徒状況を見た上で、時代に合った教育を検討していかなければならない。退学者の主な理由は、目標喪失と人間関係なので、引き続き新たな対策が必要である。

② 今後の改善方策

生徒状況を見た上で、時代に合った教育を検討していかなければならない。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

あらゆる理由で学習をしたい希望はあるものの、教室に入れない生徒が増加してきている。
不登校にならないための施策を開拓しているが、急な対応に困惑する時がある。

② 今後の改善方策

人数増加時の環境整備や人員確保

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

インターンシップ先の確保。

② 今後の改善方策

企業開拓を積極的にすすめる。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(7)学生の入入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	3

① 課題

物価高騰により教材費などのやむをえない値上げ等

② 今後の改善方策

お取引先様との連携をしっかりと行う

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

なし

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

2025 年度は第3期中期経営計画(2023 年度～2027 年度)の 3 年目にあたり、東京未来大学及び小田原短期大学の中期計画改定を反映し、第3期中期経営計画＜第 2.0 版＞を策定し年度開始時より適用した。中期経営計画及びその進捗状況はホームページ上に公開している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

地域イベントやボランティアの増加

② 今後の改善方策

企業様との連携

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今後も社会が求める人材を輩出するために、業界のご意見を頂きながら学校教育に反映させていきたい。